

平成23年度
全国私立中学高等学校

第59回 全国私学教育研究集会群馬大会

実施案内

日本の未来を拓く
私学教育



会期 平成23年10月27日(木)・28日(金)の2日間

会場 〈群馬県高崎市〉
群馬音楽センター／ホテルメトロポリタン高崎／エテルナ高崎

主催 財団法人私学研修福祉会 **後援** 群馬県／高崎市／日本私立中学高等学校連合会

実施 群馬県私立中学高等学校協会／関東地区私立中学高等学校協議会 **協力** 財団法人日本私学教育研究所

も く じ

ご案内	1
大会役員等一覧	2
実施概要	3
全体集会	5
1 私学経営部会	8
2 教育課程部会	10
3 法人管理事務運営部会	12
4 進路指導部会	14
5 国際理解教育部会	16
6 特色教育部会	18
参加申込みと参加費の納入について	20
交通のご案内	22
教育懇談会・宿泊のお申込みについてのご案内	23
平成23年度 第59回全国私学教育研究集会群馬大会 参加申込書	25
平成23年度 第59回全国私学教育研究集会群馬大会教育懇談会および宿泊申込書	27

この度の東日本大震災で被災された方々に、
謹んでお見舞い申し上げます。

ご 案 内

第59回全国私学教育研究集会群馬大会は、平成23年10月27日(木)・28日(金)の2日間、高崎市の群馬音楽センターを主会場とし開催いたします。

本大会につきましては、既に「開催速報」にて基本日程や会場、設置部会とそのテーマなどをお知らせいたしました。全体集会のより詳しい内容と設置部会の具体的な概要について改めてご案内いたします。

本大会を実施するに当たり、財団法人日本私学教育研究所をはじめ、関東地区私立中学高等学校協議会メンバーである各県私学関係者の皆様から多大なるご支援を賜りましたことに対し、群馬県関係者一同感謝申し上げます。

今日まで我が国の教育における先進的な取り組みを行ってきたのは、私どもの私学教育であります。また、閉塞感の漂う我が国の現状を善導していく人材育成を可能にするのも私ども、私学の教育力ではないかと考えます。そこで、この度のメインテーマを「日本の未来を拓く私学教育」といたしました。

それぞれの建学の精神に基づき、私学の役割を再認識し、新しい時代に対応する特色ある教育を積極的に展開するために、共に研修を深めてまいりたいと存じます。

本年4月に中核市となった会場地高崎市は、古くから関東と信越をつなぐ交通の要所として知られ、本年3月には北関東高速道路の全面開通と関越・上信越自動車道により東西・南北の高速道路網の結節点として、ますます人・物の交流が盛んとなることが期待される商業都市であるとともに群馬交響楽団発祥の文化都市であります。

記念講演では、戦後の荒廃の中に創立、県内の学校を巡回し児童生徒を対象に「移動音楽教室」を行い県民とともに歩んできた群馬交響楽団を紹介するとともにその演奏を楽しんでいただきたいと思います。

また、6つの部会を設置し、それぞれ群馬県内の全学校が大会の準備・運営に当たり群馬県らしさを演出できればと考えております。

全国から多くの先生方のご参加をいただき、この高崎の地で交流を深められ、今後の私学の飛躍につながる研究集会となることを祈念し、ご案内申し上げます。

平成23年 5 月

第59回全国私学教育研究集会群馬大会実行委員会

委員長 堀 井 基 章

(関東地区私立中学高等学校協議会会長)

実施県会長 小茂田 恵 三

(群馬県私立中学高等学校協会会長)

大会役員等一覽

1. 大会役員（順不同）

増田 壽男	（財団法人私学研修福祉会 法政大 社会学 理事 長）	理事 長・総 長
吉田 晋	（財団法人日本私学教育研究所 富士見丘中学高等学校 理事 長）	理事 長・校 長
實吉 幹夫	（財団法人日本私学教育研究所 東京女子学園中学高等学校 副理事 長・全国集会総括責任者 理事 長）	副理事 長・校 長
山中 幸平	（財団法人日本私学教育研究所 学校法人山中学園 副理事 長）	副理事 長・理事 長
鈴木 康之	（財団法人日本私学教育研究所 水戸女子高等学校 全国集会副総括責任者 理事 長）	副理事 長・校 長
中川 武夫	（財団法人日本私学教育研究所 淑徳巣鴨中学高等学校 所 長）	所 長

2. 実行委員（順不同）

委員 長 堀井 基章	（関東地区私立中学高等学校協議会 学校法人堀井学園 会 理 事 長）	会 理 事 長
副委員 長 小茂田 惠三	（群馬県私立中学高等学校協会 前橋育英高等学校 会 校 長）	会 校 長
委 員 廣瀬 和喜	（茨城県私学協会 学校法人東洋大学 会 理 事 長）	会 理 事 長
船田 元	（栃木県私立中学高等学校連合会 作新学院中等部高等学校 会 理 事 長・中等部長）	会 理 事 長
小川 義男	（社団法人埼玉県私立中学高等学校協会 狭山ヶ丘高等学校 会 校 長）	会 校 長
大羽 克弘	（社団法人千葉県私立中学高等学校協会 千葉英和高等学校 会 理 事 長・校 長）	会 理 事 長
工藤 誠一	（一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会 聖光学院中学高等学校 理 事 長・校 長）	理 事 長
森本 純生	（群馬県私立中学高等学校協会 高崎商科大学附属高等学校 顧 問・理 事 長・校 長）	顧 問

実施概要

- 1 研究目標 日本未来を拓く私学教育
- 2 会 期 平成23年10月27日(木)・28日(金)の2日間
- 3 会 場 全体会場 群馬音楽センター(高崎市高松町28-2 TEL 027-322-4527)
 部会会場 ホテルメトロポリタン高崎(高崎市八島町222 TEL 027-325-3311)
 エテルナ高崎(高崎市栄町22-30 TEL 027-323-1122)
- 4 募集人員 600名
- 5 基本日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	15			45	45	45	30	30			
第1日 10月27日 (木)				受付	開会式	報告	全体集会 記念講演 講演 演奏		移動	教育懇談会	
第2日 10月28日 (金)	受付	開会式	部会	昼食	部会	閉会式	※閉会式は部会別に行います。				

6 全体集会

第1部 報告

「私学教育への取り組みについて」

日本私立中学高等学校連合会 会長 吉田 晋
 財団法人日本私学教育研究所 理事長

第2部 “音楽のある街・高崎”からのメッセージ

「音楽の力で育む子供の心と豊かな未来」

記念講演 「音楽による情操教育の向上と普及
 ～県民とともに歩む群馬交響楽団～」

講師 財団法人群馬交響楽団 常務理事 五十嵐 靖 男

群馬交響楽団演奏

演目 「管弦楽のためのラブソディー」(外山雄三 作曲)
 「夏の思い出」(中田喜直 作曲) 他
 指揮者 上野 正 博

7 部 会

- 1 私学経営部会 私学経営の活性化と次世代リーダーの育成
(160名)
- 2 教育課程部会 次代の私学教育を見通した教育課程と評価について
(120名)
- 3 法人管理事務運営部会 事務室が変われば、学校も変わる
(90名)
- 4 進路指導部会 個性を伸ばし夢をかなえる進路指導の実践
(80名)
- 5 国際理解教育部会 グローバルな視点を養う教育を目指して
(70名)
- 6 特色教育部会 建学の精神 原点に立ち返る
(80名)
- 8 教育懇談会 全体集会終了後、ホテルメトロポリタン高崎 6階 「丹頂」に会場を移動して行います。(会場までは徒歩で10分程度です。)
参加会費8,000円
※参加をご希望の方は、23ページ「教育懇談会・宿泊のお申し込みについて」をご覧ください。
- 9 参加費 15,000円 (教育懇談会費は含みません。)
- 10 参加申込 本案内の20ページを参照いただき、9月30日(金)までに参加申込みをお願いします。
- 11 問合先 財団法人日本私学教育研究所
「全国私学教育研究集会群馬大会」担当
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階
TEL 03 (3222) 1621 FAX 03 (3222) 1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

全体集会

1 日 時 平成23年10月27日（木） 12時45分～17時00分

2 会 場 群馬音楽センター

3 開 会 式 12時45分～13時45分

- (1) 開会のことば
- (2) 主催者挨拶
- (3) 実行委員長挨拶
- (4) 歓迎のことば
- (5) 来賓祝辞
- (6) 次期開催地代表挨拶
- (7) 閉会のことば

4 全 体 会 13時45分～17時00分

第 1 部 報 告

「私学教育への取り組みについて」

日本私立中学高等学校連合会 会 長 吉 田 晋
財団法人日本私学教育研究所 理 事 長

第 2 部 “音楽のある街・高崎” からのメッセージ

「音楽の力で育む子供の心と豊かな未来」

(1) 記念講演

演 題 「音楽による情操教育の向上と普及 ～県民とともに歩む群馬交響楽団～」

講 師 財 団 法 人 群 馬 交 響 楽 団 常 務 理 事 五十嵐 靖 男

(2) 群馬交響楽団演奏

演 目 「管弦楽のためのラブソディー」(外山雄三 作曲)

「夏の思い出」(中田喜直 作曲) 他

指揮者 上 野 正 博

5 運営委員

委 員 長 野 口 秀 樹 (樹徳中学校 理事長・校長)

副 委 員 長 小 茂 田 惠 三 (前橋育英高等学校 校長)

委 員 大 川 義 (共愛学園中学高等学校 校長)

森 本 純 生 (高崎商科大学附属高等学校 理事長・校長)

松 本 兼 太 郎 (東京農業大学第二高等学校 校長)

市 川 賢 太 郎 (高崎健康福祉大学高崎高等学校 副校長)

高 山 幸 索 (常磐高等学校 校長)

市 川 平 治 (新島学園中学高等学校 校長)

佐 々 木 克 典 (学校法人白根開善学校 理事長・学園長)

狩 野 紀 憲 (関東学園大学附属高等学校 副校長)

嶋 村 孝 (明和県央高等学校 教諭)

中 村 博 志 (桐生第一高等学校 教諭)

“音楽のある街・高崎”からのメッセージ

「音楽の力で育む子供の心と豊かな未来」

♪記念講演♪

演 題 「音楽による情操教育の向上と普及 ～県民とともに歩む群馬交響楽団～」
講 師 五十嵐 靖 男 （財団法人群馬交響楽団 常務理事）

♪群馬交響楽団演奏♪

演 目 「管弦楽のためのラプソディー」（外山雄三 作曲）
「夏の思い出」（中田喜直 作曲） 他
指揮者 上 野 正 博

【記念講演講師 五十嵐 靖 男 プロフィール】

1957年、群馬県高崎市に生まれる。県立高崎高等学校を卒業後、早稲田大学法学部に入学。1981年早稲田大学法学部卒業。同年、群馬県職員として勤務。学事法制課、地域政策課次長を経て、2010年、財団法人群馬交響楽団常務理事に就任。主な公職は、社団法人日本オーケストラ連盟理事、財団法人群馬県教育文化事業団評議員。

【指揮者 上 野 正 博 プロフィール】

神奈川県生まれ。東京芸術大学音楽学部指揮科卒業、同大学院音楽研究科指揮専攻修了。

1994年、東京国際音楽コンクール・指揮部門にて「入選」。1996年、国際ロータリー財団親善奨学生として、ベルリン芸術大学に留学。その後、「ベルリン・ドイツ・オペラ」の指揮研究生として、Ch.ティーレマン氏の下で研鑽を重ねる。1998年ギリシャにおいて世界的権威あるディミトリ・ミトロプーロス国際指揮者コンクールに最高位入賞（1位なし2位）、併せて「ミトロプーロス・ゴールドメダル」を授与されて帰国。

今までに、日本の主要オーケストラを指揮し、好評を得てきた。またオペラ公演の音楽スタッフとして信頼も大変厚く、読売日本交響楽団公演では、ドイツの名匠G.アルブレヒトに直接指名され重責を果たした。自らも、多くのオペラを指揮し、2005年3月に「蝶々夫人」、2010年7月に「カルメン」を指揮し好評を博し、11月には藤沢市民オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」を指揮。

海外では、2000年に国立ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団定期公演、ウィーン室内管弦楽団のオーストリア・ツアーを指揮してヨーロッパデビュー。地元紙にも「的確な棒さばき」を評価された。2006年11月には、ラボラトリウム国際現代音楽祭（ワルシャワ）にて指揮。活動の場を広げている。

現在、東京芸術大学大学院、フェリス女学院大学非常勤講師を兼任。

【群馬交響楽団プロフィール】

1945年、戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して「高崎市民オーケストラ」が創設され、翌年「群馬フィルハーモニーオーケストラ」、1963年に「財団法人群馬交響楽団」と改称して現在に至る。1955年、「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集め、翌年には文部省により群馬県が全国初の「音楽モデル県」に指定された。さらに1961年、市民の全面的な支援を受けて高崎市に群馬音楽センターが建設され、これを拠点としてさらに幅広い活動が展開された。また、1947年5月に始めた移動音楽教室では、2009年度までに延べ600万人以上の児童・生徒が鑑賞しているのをはじめ、県内各地での演奏活動の展開により、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。1994年には「ブラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け、音楽監督 高関 健指揮のもと4カ国を巡る海外公演を実現。2001年からは、日本の音楽界を牽引している楽団として、文化庁の「芸術創造活動重点支援事業」支援団体に指定されている。2003年10月にはNHKテレビ番組「プロジェクトX～挑戦者たち～」で楽団の草創期が紹介され、全国から注目された。また、2005年4月にはNHK朝の連続テレビ小説「ファイト」の主題曲を担当し高評価を得る。最近では、定期演奏会、移動音楽教室など地域に根ざした活動や、レコーディング、文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」をはじめとして全国各地での演奏活動も積極的に行っている。2005年には創立60周年を迎え、今後は、さらに幅広い活動を通してますます音楽文化の発展に貢献することが期待されている。



1 私学経営部会

平成22年度から始まった公立高校授業料無償化と高等学校等就学支援金制度は、今年度2年目を迎え、公私間格差の拡大・手続きの不公平・事務局業務の増加など、多くの問題点を抱えている。加えて、新学習指導要領の本格実施年も間近に迫っている。このような中、私立学校には、「教育の質の向上」はもとより、さらなる「学校の質の向上」が求められている。

本部会では、講演と実践報告、ディスカッションをとおして、今後の私学の在り方を模索していく。

- 1 研究目標 私学経営の活性化と次世代リーダーの育成
- 2 会場 ホテルメトロポリタン高崎
- 3 募集人員 160名
- 4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月28日	受付	講演 I	講演 II	実践報告 ①・②	昼食	フォーラム ディスカッション		閉会式	

開会式

- 5 内容
 - 講演 I 「私学をめぐる現況と当面する課題～未来を担う私学の理念と経営活性化～」
講師 東京女子学園中学高等学校 理事長・校長 實吉 幹夫
 - 講演 II 「群馬県の私学行政と私学振興」(仮)
講師 群馬県総務部学事法制課 課長 関 隆之
 - 実践報告① 「生徒指導における一考察について」
発表者 樹徳高等学校 副教頭 金安伸一
 - 実践報告② 「学校組織活性化をめざしてーミドルリーダー設置の中間報告ー」
発表者 前橋育英高等学校 副校長 竹淵 敏
 - フォーラム・ディスカッション
「次世代リーダーの育成」
パネリスト 東京成徳大学中学高等学校 校長 木内 秀樹
株式会社ブレインアカデミー 執行役員 淡路 雅夫
株式会社JTB 法人東京 取締役 大塚 雅樹
コーディネーター 水戸女子高等学校 理事長 鈴木 康之

6 講師プロフィール

淡路雅夫

1968年、國學院大学法学部卒業。同大学院、同日本文化研究所で、家族問題を法社会学、民俗学的見地から考察。1970年に浅野中学高等学校に勤務。その後も漁業家族の法社会学的調査を続け、現代家族の研究を継続。長年にわたって子どもの発達や親子関係の考察、青少年の自立のためのボランティア活動や研修指導にも従事。2002年4月、同校校長に就任。2006年に神奈川県高等学校文化連盟副会長に就任。2008年、神奈川県私立学校教育功労者表彰・受賞。2009年、横浜市生徒指導部会副会長に就任。2010年3月に同校校長を退任。現在は株式会社ブレインアカデミー執行役員・私学アドバイザー。著書『人に育てられて生きる』（社会評論社）『児童福祉概論』（八千代出版）等。

大塚雅樹

1986年、明治大学法学部卒業。同年、株式会社JTB入社。東京新宿支店営業課に配属。法人向け国内海外団体旅行担当。1991年、社内公募にて、本社市場開発室へ異動。1993年、株式会社JTBモチベーションズ設立。設立と同時に外向。1995年、やる気分析システム“MSQ”を開発。1999年、「やる気のコーチングルーム」をネット上に開設、企業の間管理職のモチベーションアップのコーチングビジネスの立ち上げ。2001年、中高年のための「職業情報」発信事業“ジョブシャワー”のインキュベーションを開始。2002年、“ジョブシャワー”事業、スタート。2004年、代表取締役社長就任。2007年、日本ベンチャー学会会員、産業組織心理学会会員、社団法人関東ニュービジネス協議会理事、NPO法人日本青少年キャリア教育協会評議員。2010年から株式会社JTBモチベーションズ及び株式会社JTB法人東京取締役を兼務。

實吉幹夫

1970年、学習院大学経済学部卒業。同年、長銀不動産（現日本ランディック）株式会社入社。1985年、東京女子高等学校社会科教諭に就任。1989年、学校法人東京女子学園理事に就任。2000年、東京女子学園中学校・高等学校校長に就任。2003年、学校法人東京女子学園・理事長に就任、現在に至る（校長兼任）。主な公職として、日本私立学校振興・共済事業団理事、東京都私立学校審議会委員、東京私立中学高等学校協会副会長、財団法人東京都私学財団理事、日本私立中学高等学校連合会・常任理事、財団法人日本私学教育研究所副理事長（私学経営専門委員会委員長）など多数。2007年、東京都教育功労者表彰・受賞。

木内秀樹

1974年、慶応大学法学部法律学科卒業。同年、三菱地所株式会社入社。1985年、東京成徳短期大学附属中学高等学校教諭、同附属幼稚園副園長に就任。同学園法人本部企画調整室長、同附属中学校教頭を経て、1990年、東京成徳短期大学附属中学校校長に就任。1998年、同附属高等学校校長を兼務。主な公職として、東京私立中学高等学校協会常任理事、財団法人東京都私学財団理事、日本私立中学高等学校連合会常任理事、財団法人日本私学教育研究所理事（次世代リーダー育成専門委員会委員長）など多数。

鈴木康之

1982年、早稲田大学社会科学部卒業。同年、水戸女子高等学校社会科教諭に赴任。1998年、校長に就任。2009年、理事長を兼任。主な公職として、茨城県私立学校審議会委員、同県スポーツ振興審議会委員、同県高等学校長協会副会長、日本私立中学高等学校連合会理事、財団法人日本私学教育研究所理事（私学経営専門委員会副委員長）など多数。

7 運営委員

委員 長	星野 幸一	(樹徳高等学校 校長)
副委員 長	竹淵 敏	(前橋育英高等学校 副校長)
委 員	池田 量	(樹徳高等学校 副校長)
	田中 薫	(樹徳中学校 教頭)
	青山 正伸	(樹徳高等学校 教諭)
	青高 元彦	(前橋育英高等学校 教頭)
	金子 雅人	(前橋育英高等学校 教諭)
	神山 義幸	(前橋育英高等学校 教諭)

8 専門委員

委員 長	實吉 幹夫	(東京女子学園中学高等学校 理事長・校長)
副委員 長	鈴木 康之	(水戸女子高等学校 理事長・校長)
委 員	長塚 篤夫	(順天中学高等学校 校長)
	木内 秀樹	(東京成徳大学中学高等学校 校長)
	真城 義麿	(大谷中学高等学校 前校長)
	新野 光之助	(筑陽学園中学高等学校 理事長・高校長)
	野原 明	(文化学園大学杉並中学高等学校 特別顧問・名誉校長)

2 教育課程部会

平成25年度より高等学校学習指導要領への全面移行をひかえている。そこで、本部会においては、現行の教育課程とその評価について再考察し、更に新しいカリキュラム作りや独自の教育実践に結びつけられるような内容を企画した。次世代の私学の特色を活かした教育課程編成の一助になれば幸いである。

- 1 研究目標 次代の私学教育を見通した教育課程と評価について
- 2 会場 エテルナ高崎
- 3 募集人員 120名
- 4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月28日	受付	講演Ⅰ	研究発表Ⅰ	昼食	講演Ⅱ		研究発表Ⅱ	閉会式	

└─ 開会式

- 5 内容
 - 講演Ⅰ 「すべては一步より始まる」
 講師 広島県立歴史博物館 元館長 皿田雄三
 広島県立芦品まなび学園高等学校 初代校長
 - 講演Ⅱ 「カリキュラム開発とその評価」
 講師 筑波大学人間総合科学研究科 准教授 根津朋実
 - 研究発表Ⅰ 「『新しい学び』へ 開智の挑戦 -4・4・4制、異学年齢学級、習熟度別グループ授業、パーソナルの時間等、開智独自の教育実践-」
 発表者 開智学園総合部 校長 那須野 泰
 - 研究発表Ⅱ 「教育課程と評価について」
 発表者 関東学園大学附属高等学校 教諭 吉田明稔
 発表者 桐生第一高等学校 教諭 岡山敏明

6 講師プロフィール

皿 田 雄 三

1944年生まれ。1967年より広島県内の県立高等学校で教職に就き、広島県立尾道商業高等学校教頭を経て、広島県立芦品まなび学園高等学校校長に就任し、単位制の弾力的なシステムを取り入れるなど全国的にもモデル校としての評価を得る新しいタイプの学校づくりに尽力。2003年には広島県教育賞受賞。校長退任後2004年より広島県立歴史博物館館長に就任、2009年退館。現在は、同博物館友の会会長、菅茶山関係書籍発刊委員会編集委員、府中学園・府中市立府中中学校学校関係外部評価委員を務める。なお、菅茶山関係書籍発刊委員会より2009年に「菅茶山の世界 黄葉夕陽文庫から」を出版。

根 津 朋 実

1969年生まれ。筑波大学第二学群人間学類卒、筑波大学大学院教育学研究科博士課程単位取得。博士(教育学)。現在、筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授。主な研究分野は、「教科外活動のカリキュラム評価に関する研究」「カリキュラム評価用のチェックリスト開発」「小中一貫校のカリキュラム研究」「中高一貫校の研究」「現職教員研修システムの改善」「少人数学級の研究」。主な著書に「カリキュラム評価の方法—ゴール・フリー評価論の応用—」(多賀出版株式会社 2006/10)、「教育内容・方法(教職シリーズ3)」(共著 培風館 2010/07)、「カリキュラム評価入門」(共著 勁草書房 2009/05)等。

7 運営委員

委員 長	根 岸 弘	(関東学園大学附属高等学校 校長)
副委員 長	高 山 信 廣	(桐生第一高等学校 校長)
委 員	米 山 守	(関東学園大学附属高等学校 副校長)
	吉 田 明 稔	(関東学園大学附属高等学校 教諭)
	飯 島 昌 幸	(関東学園大学附属高等学校 教諭)
	味 戸 克 之	(桐生第一高等学校 教諭)
	矢 口 富 雄	(桐生第一高等学校 教諭)
	岡 山 敏 明	(桐生第一高等学校 教諭)

8 専門委員

委員 長	清 水 哲 雄	(学校法人鷗友学園 常務理事)
委 員	助 川 幸 彦	(芝中学高等学校 前校長)
	山 本 与志春	(青山学院中等部 部長)
	大多和 聡 宏	(開星中学高等学校 理事長・校長)

3 法人管理事務運営部会

昨年より日本私学教育研究所主催の一般研修会がリニューアルされ、喫緊の課題や専門的な課題を扱う私立学校専門研修会の法人管理事務運営部会が、理事長・法人理事・事務長等管理職を対象とした内容の研修会として始まった。そこで、一般の学校事務職員を対象とした内容の研修は全国私学教育研究集会の部会において実施することとなった。

止まらぬ少子化や長引く経済不況の中、日本の教育行政の流れが大きく変化しており、私立学校においても教育内容等の改革、経営の活性化が求められている。新学習指導要領の実施や教員の資質の向上、高校無償化（就学支援金の支給）、公立校の特色化（私学化）、グローバル化の中の国際教育等々の中にあって、私立学校は充実・発展のため、教育の質のみでなく学校の質の向上（教務・事務双方の）を図らねばならない。

今回の群馬大会に於いては「事務室が変われば学校も変わる」をテーマとし、最新の知識技能の習得は勿論のことではあるが、まずは学校事務職員の意識を改革し、事務職員の果たすべき役割を確認し、事務室が変わることが学校全体の質の向上に繋がるとの信念を持つことが最も重要であると考え本部会を企画した。

1 研究目標 事務室が変われば、学校も変わる

2 会場 エテルナ高崎

3 募集人員 90名

4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月28日	受付	基調講演	講演	昼食	分科会			閉会式	

└ 開会式

5 内容

基調講演 「選ばれる私学をめざす組織づくりー学校改革とリスクマネジメント」
（日本私学教育研究所私立学校専門研修会「法人管理事務運営部会」報告）

講師 聖光学院中学高等学校 校長 工藤 誠一
日本私学教育研究所・法人管理事務運営専門委員会 委員長

講演 「大型温泉旅館の破綻と再生から学ぶ魅力づくりと意識改革」

講師 (株)星野リゾート・トマム 代表取締役総支配人 佐藤 大介

分科会 「学校事務の質の向上と今日的な課題対応について」

- ① 学校窓口としての接遇（コミュニケーション力・傾聴力・マナー・電話の対応・クレーム対応）
- ② 情報の管理（個人の情報・セキュリティー）
- ③ 保護者・近隣への対応（危機管理能力の向上・リスクマネジメント）
- ④ 学校事務・業務の効率化（就学支援金手続き・補助金申請）
- ⑤ 教員とのコミュニケーション・信頼関係づくり（カリキュラム・経営への参画・生徒募集）
- ⑥ 協力的な職場環境の構築（協調性・やる気の向上）

指導講師 高崎商科大学短期大学部 教授 大津 ゆり

6 講師プロフィール

工 藤 誠 一

神奈川県出身。明治大学法学部卒。同大学大学院政治経済学研究科博士前期課程単位取得修了。学校法人聖マリア学園法人事務局長、聖光学院中学高等学校教頭等を経て、平成16年より校長に就任、現在に至る。その間、神奈川県私立中学高等学校協会理事長、神奈川県私立退職金基金財団理事長、日本私立中学高等学校連合会常任理事等、日本私学教育研究所法人管理事務運営専門委員会委員長を兼職、現在に至る。

佐 藤 大 介

大阪府出身。早稲田大学工学部卒。2004年11月に株式会社星野リゾートより経営破綻した古牧温泉の再生請負人として出向。従来から在籍するスタッフの潜在力を引き出し自ら考えて行動する“サッカーチーム型組織”への組織変革を進め、経営の近代化を進める。新たに「のれそれ青森（津軽弁で“目一杯青森”の意）」を運営コンセプトに据え、地域貢献も意識しつつ地域と連携し、青森の地域の魅力を全面に出したハード・ソフト改革も実行するとともに、スタッフのホスピタリティ向上と労働生産性の向上をすすめ、集客・収益・顧客満足度の向上を実現させた。現在アルファリゾート・トマムをアジアを代表するリゾートとすべく変革を進めている。

大 津 ゆ り

高崎商科大学短期大学部現代ビジネス学科教授、東京都出身。慶應義塾大学卒業後、外務省儀典分室において英語圏、スペイン語圏の国賓の接遇を担当。スウェーデンイエテボリ大学でバリアフリーを学んだ後、フィリピンマニラの五つ星ホテルのフロント副支配人、ホテルイースト21東京（ホテルオークラ運営）の開業準備室を経て、トラベルジャーナル旅行専門学校テーマパーク・ホテル学科長、埼玉女子短期大学客員助教授。埼玉県初級公務員研修を10年以上担当。平成17年より現職。専門はホスピタリティ（学術修士）、ホテル関連科目と手話コミュニケーション。

7 運営委員

委員 長	森 本 純 生	（高崎商科大学附属高等学校 理事長・校長）
副委員 長	高 山 幸 索	（常磐高等学校 校長）
委 員	金 井 誠	（高崎商科大学附属高等学校 副校長）
	石 川 貞 雄	（高崎商科大学附属高等学校 事務長）
	加 島 勝 一	（高崎商科大学法人本部 課長）
	栗 原 恒 典	（常磐高等学校 教頭）
	塚 越 隆	（常磐高等学校 事務長）
	常 見 憲 男	（常磐高等学校 法人本部長）

8 専門委員

委員 長	工 藤 誠 一	（聖光学院中学高等学校 校長）
委 員	森 本 純 生	（高崎商科大学附属高等学校 理事長・校長）
	正 村 幸 雄	（学校法人鹿児島学園 理事長）
	富 本 道 宣	（富本教育研究所 所長）

4 進路指導部会

我々が日常実践している進路指導は、就職指導から各種上級学校への進学指導まで、多様な目的意識を持つ生徒をかかえ、広範囲にわたる指導に取り組んでいる。

本部会では、生徒一人一人の進路目標を達成するために、高校三年間における具体的な指導方策は何か、基調講演や事例、研究発表の中から様々な課題や問題点を考察したい。

1 研究目標 個性を伸ばし夢をかなえる進路指導の実践

2 会場 エテルナ高崎

3 募集人員 80名

4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月28日	受付	基調講演	事例発表	昼食	研究発表 I	研究発表 II	総括	閉会式	

開会式

5 内容

基調講演 「進路、大海への出発点 実り多い航海のために何を託すか！」

講師 株式会社アメリカンドリーム 代表取締役 吉川 浩 司

事例発表 「将来を見通した体系的な進路学習」

発表者 文星芸術大学附属高等学校 進路統轄部長 牧島 勝利

研究発表Ⅰ 「生徒の希望を重視した進路実践」

発表者 東京農業大学第二高等学校 進路指導部長 山田 欣 司

研究発表Ⅱ 「個々の潜在能力の発掘と進化を目指して」

発表者 明和県央高等学校 教諭 津久井 武

6 講師プロフィール

吉川 浩 司

2002年、ワールドカップ日本招致委員会国際部員。FIFA国際サッカー連盟加盟国オセアニア大陸連盟日本代理人。フジTV制作ドラマ「熱き夢の日」主人公（伊藤英明）のモデル、APECジュニア会議2010総括ファシリテーター。カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）経済学部卒業。著書：「地球時代とこころの国際化」（講演録）、「日本を旅立った7人の若者たちのアメリカ留学体験記」（共著）

7 運営委員

委員長	松本 兼太郎（東京農業大学第二高等学校 校長）
副委員長	田村 仁（明和県央高等学校 校長）
委員	伊藤 薫（東京農業大学第二高等学校 教頭）
	山田 欣司（東京農業大学第二高等学校 教諭）
	奥川 武史（東京農業大学第二高等学校 教諭）
	津久井 武（明和県央高等学校 教諭）
	中村 健彦（明和県央高等学校 教諭）
	高橋 尚志（明和県央高等学校 教諭）

5 国際理解教育部会

益々グローバル化する世界において、国際的センス、視野をもった人材を育てていくことは現代社会の切に求めるところである。私学は、教育の特色、伝統を強みとして持ち、そうした人材育成を実現していくための可能性を秘めていると言える。本部会では、国際理解教育の可能性について取り上げ、現場の取り組み例、成果などの報告も受けつつ、それぞれの学校の現状に合わせた国際理解教育へのヒントを見つけることを主目的としたい。

1 研究目標 グローバルな視点を養う教育をめざして

2 会場 ホテルメトロポリタン高崎

3 募集人員 70名

4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月28日	受付	講演	研究発表 I	昼食		研究発表II		閉会式	

開会式

5 内容

講演 「国際理解教育 ～共に生きるために～」

講師 アジア農村指導者養成専門学校 校長 大津 健一

研究発表I 「語学教育と国際理解との可能性について」

発表者 共愛学園高等学校 教諭 塚本 真理

研究発表II 「国際理解への取り組み アジアとの出会い

—私を変えたもの— 生徒の体験報告」

発表者 新島学園高等学校 宗教主任 小栗 仁志

発表者 共愛学園高等学校 宗教主任 荒谷 出

6 講師プロフィール

大 津 健 一

1943年大阪生まれ。同志社大学大学院神学研究科、米国Pacific School of Religion修了。西陣市民センター館長、アジアキリスト教協議会（CCA）幹事、日本キリスト教協議会（NCC）総幹事などを経て、2009年4月よりアジア学院アジア農村指導者養成専門学校校長。元津田塾大学、立教大学非常勤講師。

7 運営委員

委員長	大 川	義	（共愛学園中学高等学校	校長）
副委員長	市 川	平 治	（新島学園中学高等学校	校長）
委 員	飽 田	哲 也	（共愛学園中学高等学校	教頭）
	荒 谷	出	（共愛学園中学高等学校	教諭）
	村 上	英 之	（共愛学園中学高等学校	教諭）
	小 瀧	秀 夫	（新島学園中学高等学校	教頭）
	半 田	和 博	（新島学園中学高等学校	教諭）
	小 栗	仁 志	（新島学園中学高等学校	教諭）

6 特色教育部会

【変わらなければならないもの、変わってはならないもの。】

時代の流れ、社会の変化に伴い私立学校は、そのニーズに応えるべく検討を重ね、進化・成長しなければならないが、それぞれの建学の精神を絶えず見直し、吟味し、それぞれの独自性ある教育方針や教育方法が教育現場の具体的場面で実践されてこそ、私立学校の存在意味がある。多種多様な価値観・生き方が受け入れられている現代の日本で私学の伝統を踏まえながらも必要とされる私学教育の在り方を考えたい。

1 研究目標 建学の精神 原点に立ち返る

2 会場 ホテルメトロポリタン高崎

3 募集人員 80名

4 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
10月28日	受付	基調講演	研究発表 Ⅰ	昼食	研究発表 Ⅱ	研究発表 Ⅲ	閉 会 式		

└─ 開会式

5 内容

基調講演 「『建学の精神』 原点に立ち返る」

講師 学校法人白根開善学校 理事長・校長 佐々木 克典

研究発表Ⅰ 「山の小さな学校の取り組み」

発表者 学校法人白根開善学校 理事長・校長 佐々木 克典

研究発表Ⅱ 「アスリートコースの指導について」

発表者 高崎健康福祉大学高崎高等学校 教頭 加藤 陽彦

発表者 高崎健康福祉大学高崎高等学校 教諭 黒田 水生

研究発表Ⅲ 「夢は大きく 根は深く 【無学年制 医療倫理・医系小論文講座】」

発表者 樹徳中学高等学校(一貫校) 中学校校長 野口 秀樹

発表者 樹徳中学高等学校(一貫校) 教諭 福田 肇

6 講師プロフィール

佐々木 克典

1953年（昭和28年）、神奈川県横浜市生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。学生時代より創立者である本吉修二先生と行動を共にし、卒業と同時に白根開善学校教諭となる。一時、看護短期大学設立の準備室長、設立認可後は事務部長として関わるが、2000年に復職。2001年、教員と事務部長を兼務。2002年、学校法人白根開善学校理事就任。2003年、常務理事就任。2007年、理事長代行、2009年、理事長及び学園長に就任。

7 運営委員

委員長	佐々木 克典（学校法人白根開善学校 理事長・学園長）
副委員長	市川 賢太郎（高崎健康福祉大学高崎高等学校 副校長）
委員	加藤 陽彦（高崎健康福祉大学高崎高等学校 教頭）
	金沢 秀二（高崎健康福祉大学高崎高等学校 教諭）
	黒田 水生（高崎健康福祉大学高崎高等学校 教諭）
	神山 誠一（白根開善学校高等部 部長）
	麻野 忠彦（白根開善学校中等部 部長）
	高橋 洋二（学校法人白根開善学校 事務部長）

参加申込みと参加費の納入について

1 参加申込みについて

(1) 大会参加者は、別紙「平成23年度第59回全国私学教育研究集会群馬大会参加申込書」に必要事項を記入し、次ページの事務局あてにお送り下さい。

なお、会場スペースに限りがありますので、部会の申込み受付は先着順とし、定員に達した場合、締め切らせていただくことがあります。

(2) お一人（個人）でお申込みの場合

別紙「参加申込書」に、都道府県名、学校名、学校所在地を記載し、No.1の欄に氏名、参加希望部会等をご記入ください。2週間以内にご本人あてに参加確認証等の書類を郵便またはゆうメールにてお送りいたします。

学校（法人）で複数参加される場合

別紙「参加申込書」に、都道府県名、学校名、学校所在地を記載し、No.1から5の欄に氏名、参加希望部会等をそれぞれご記入ください。2週間以内にNo.1の欄にご記入いただいた方に、参加確認証等の書類を全員分まとめて郵便またはゆうメールにてお送りいたします。参加申込み者数が6人以上の場合は、別紙「参加申込書」をコピーし、No.を訂正してご使用ください。その際、申込用紙右下の欄にもNo.を記載してください。（右図参照）

※参加費が6人以上の場合は、恐れ入りますが各自別紙を6、7、…のように訂正して記入し、入して下さい。

(3) 参加内容につきましては下記のことにご注意してご記入下さい。

① 2日間のご参加を原則としておりますが、やむを得ず全体集会のみに参加する場合は、「全体集会のみの参加」欄に○印を記入して下さい。（参加費は変わりません。）

② 部会について第2希望がある場合、申込書の第2希望欄に○印を記入して下さい。

※部会によっては、会場の収容人数の都合により、募集定員を超えた場合に締め切らせていただく場合がございます。特に締め切り日の1ヶ月前以降にお申し込みをされる方は、第2希望欄もご記入ください。

(4) 申込み後の部会の変更は、参加確認証がお手元に届いてから、2週間以内に次ページの連絡先にご連絡ください。ただし9月30日（金）午後3時00分以降の部会の変更は、事務手続きの都合上お断りさせていただきますので、ご了承ください。

(5) 教育懇談会（参加費8,000円）・宿泊のお申し込みは、p.23～24「教育懇談会・宿泊のお申込みについてのご案内」をお読みいただき、別紙「教育懇談会・宿泊申込書」にご記入のうえ、JTB法人東京教育第一事業部宛にFAXにて、平成23年9月30日（金）までにお申し込みください。

2 参加費の納入について

(1) 参加費は、お一人15,000円です。(参加費には10月28日の昼食費が含まれます。)

(2) 申込み受付後2週間以内に参加確認証と併せて請求書・払込票をお送りいたします。

受付内容と費用をご確認の上、ご送金下さい。払込票は指定のコンビニエンスストアでお支払いいただけます。(振込み手数料は無料です。)

3 参加申込後の変更・キャンセルについて

(1) 研究集会への参加申込み後の変更・キャンセルについては、必ずFAXにて日本私学教育研究所へご連絡ください。(FAX送信後、確認の電話をお願いいたします。)

(2) 部会の変更については、p.20「1 参加申込みについて」の(4)をご参照ください。

(3) 研究集会参加費納入後のキャンセル場合、返金の精算は研究集会終了後約1ヶ月かかりますので、あらかじめご承知おきください。なお、事務手数料として1,000円を差し引いて返金いたしますのでご了承ください。

※注意 10月24日(月)午後3時00分以降に不参加の連絡があった場合、または、当日まで無連絡で不参加の場合は、一旦納入された参加費は返金できません。また、このときまでに参加費の振り込みがされていない場合も、研究集会ご参加のための準備を全て整えておりますため、研究集会終了後に100%のキャンセル料を申し受けますのでご注意ください。研究集会資料等の発送をもって代えさせていただきます。予めご了承くださいませようをお願い申し上げます。

■ 参加申込書送付及びお問合せ先

財団法人日本私学教育研究所

「第59回全国私学教育研究集会群馬大会事務局」

(担当：田淵・福島)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階

電話03-3222-1621 FAX03-3222-1683

(郵送あるいはFAXでお申込み下さい。)

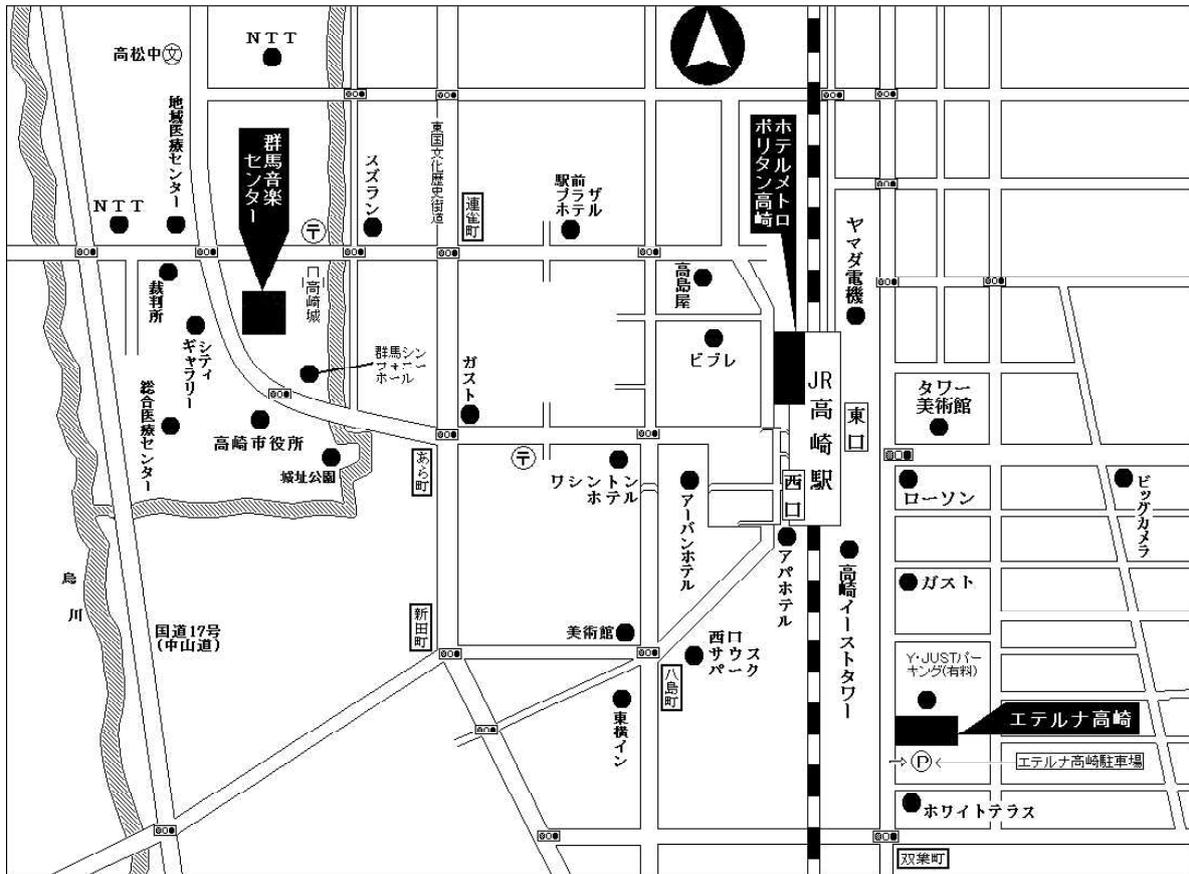
申込み締切日 9月30日(金)(必着)

4 個人情報の取り扱いについて

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取り扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研究集会参加のために必要な書類の送付、参加者名簿の作成、当研究所の研究集会開催等情報の送付、また何らかの理由で研究集会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用いたします。

交通のご案内

【1】JR高崎駅から各会場までの案内図（JR東京駅からJR高崎駅までは上越or長野新幹線で約60分です。）



【2】JR高崎駅から全体集会会場、各分会会場への案内

会場到着後は各分会受付までお越しください。

- ◆群馬音楽センター（第1日 全体集会会場）
JR高崎駅西口より、高崎市役所（正面に見える21階建てのビル）を目指して、お進みください。高崎市役所から道路を挟み北側（向かって右側）となります。（徒歩約10分）
- ◆ホテルメトロポリタン高崎（第2日 私学経営・国際理解教育・特色教育部会）
JR高崎駅改札口を出て右方向（西方向）に進み、駅ビル高崎モンレー3階から直通エレベーターで、6階にお上がりください。駅ビル高崎モンレー1階正面玄関からも同様に、直通エレベーターで、6階にお上がりください。
- ◆エテルナ高崎（第2日 教育課程・法人管理事務運営・進路指導部会）
高崎駅東口を出て、正面の県道12号を渡り、右方向（南方向）にお進みください。（徒歩約5分）

お車でご来場の方へ（駐車場のご案内） ※詳細は各会場ホームページをご覧ください。

- ◆群馬音楽センター（<http://www.takasaki-bs.jp/center/index.htm>）
専用の駐車場はございません。城址地下駐車場、城址第二地下駐車場、高松地下駐車場をご利用いただくことになります（有料）。
- ◆ホテルメトロポリタン高崎（<http://takasaki.metropolitan.jp/>）
高崎駅東口自動車駐車整理場、ココパルク800、JR高崎駅西口駐車場、ウエストパーク1000、西口駅前駐車場、西口サウスパークをご利用ください（有料）。
- ◆エテルナ高崎（<http://eterna-takasaki.com/>）
専用駐車場をご利用ください。

教育懇談会・宿泊のお申し込みについてのご案内

この度は、「平成23年度 第59回全国私学教育研究集会群馬大会」が高崎市にて開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

開催に際し、ご参加の皆様の教育懇談会および宿泊のお世話をJTB法人東京教育第一事業部にてお取り扱いをさせていただくことになりました。

今大会の成功を祈念し、精一杯大会の運営業務のお手伝いをさせていただくことをお約束するとともに、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

教育懇談会

【1】教育懇談会のお申し込みについて

- ・初日（10月27日）の全体集会終了後、下記のとおり、教育懇談会を行います。
- ・参加をご希望の方は、平成23年9月30日（金）までに、**JTB法人東京教育第一事業部** へ、お申し込みください。

日 時：10月27日（木）午後6時00分～午後7時30分

会 場：ホテルメトロポリタン高崎6階「丹頂」

（全体集會会場から教育懇談会会場までは徒歩で約10分程度です。）

参加会費：8,000円

募集定員：300名

（定員をこえた場合は、会場の都合により、期日前でも締め切らせていただきます。）

【2】お申し込み方法について

①教育懇談会のお申込は、「教育懇談会・宿泊申込書」に必要事項をご記入の上、平成23年9月30日（金）までに、JTB法人東京教育第一事業部へFAX（03-5909-8040）にてお申し込みください。

②お申込確認後、10月14日（金）に「教育懇談会参加確認書」・「請求書」をお送りします。

※お申し込みのFAXを受領後、JTBからのご連絡は、定員を超えた場合の参加の受付をお断りの連絡以外はいたしませんので予めご承知おきください。

※個人情報に関しては、教育懇談会関連の情報以外の利用は一切いたしません。

【3】お支払い方法について

①教育懇談会参加確認証・請求書が届きしだい、お振込にてお支払いください（振込み手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます）。

②教育懇談会当日の参加費の支払いはできません。

【4】変更・取消しについて

教育懇談会の参加を取り消す場合は、必ず、FAX（03-5909-8040）にてご連絡をお願いいたします。研究集会に不参加（取消し）の場合でも、教育懇談会の参加の取消しの手続きは、JTB法人東京教育第一事業部までお願いします。

※注意 10月24日（月）15時00分以降に不参加の連絡があった場合、一旦納入された参加費は返金できません。また、このときまでに参加費の振り込みがされていない場合、100%のキャンセル料を申し受けます。研究集会終了後に改めてご請求させていただくことになりますので、ご了承ください。

【5】お申し込み・お問い合わせ先

JTB法人東京教育第一事業部 担当：営業第4課 笹川・吉澤・渡辺

〒163-1065 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー26階

Tel：03-5909-8034 / Fax：03-5909-8040

宿 泊

【1】 宿泊のお申し込みについて

- ①下表の宿泊代金は一泊朝食付き税・サービス料込みの料金です。シングル・ツインともお一人様の料金です。ツインルームをお二人様でご利用の場合の料金は、JTB法人東京教育第一事業部までお問い合わせください。
- ②ご希望ホテルが満室の際は、代案ホテルをご提示させていただきます。あらかじめ申込書には第2希望までのご記入をお願いいたします。また、予約が集中した際はご希望に添えない場合もあります。その際は代案をご提示いたしますので予めご承知おきください。

利用ホテル名	部屋タイプ	料金	申込記号
ホテルメトロポリタン高崎	シングル	10,500円	A-1
	ツイン(1名利用)	18,900円	A-2
高崎ワシントンホテルプラザ	シングル	9,450円	B-1
	ツイン(1名利用)	18,900円	B-2
アパホテル高崎駅前	シングル	9,975円	C
高崎アーバンホテル	シングル	7,300円	D
東横イン高崎駅前(禁煙棟)	シングル	5,775円	E
東横イン高崎駅前	シングル	5,775円	F

【2】 お申し込み方法について

- ①宿泊のお申込は、「教育懇談会・宿泊申込書」に希望事項をご記入の上、FAX(03-5909-8040)にて、JTB法人東京教育第一事業部へ平成23年9月30日(金)までにお申し込みください。
 - ②宿泊お申込内容確認後、10月14日(金)に「予約確認書」・「請求書」を発送いたします。
※お申し込みのFAXを受領後JTBからのご連絡は上記②以外はいたしませんので予めご承知おきください。
- ※個人情報に関しては、当研究集会宿泊関連の情報以外の利用は一切いたしません。

【3】 お支払い方法について

- ①予約確認書・請求書が届き次第、お振込にてお支払いください(振込み手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます)。
- ②宿泊代金をホテルで直接精算することはできません。

【4】 変更・取消しについて

- ①必ずFAX(03-5909-8040)にてご連絡をお願いいたします。
- ②取消料金は下記をご参照ください。

宿 泊	取消日	7日～3日前	2日～前日	当 日	無 連 絡
	取消料	30%	50%	100%	100%

【5】 お申し込み・お問い合わせ先

JTB法人東京教育第一事業部 担当：営業第4課 笹川・吉澤・渡辺
〒163-1065 東京都新宿区西新宿3-7-1新宿パークタワー26階
Tel：03-5909-8034/Fax：03-5909-8040

平成23年度 第59回全国私学教育研究集会群馬大会 参加申込書

申込み締切日：9月30日（金）

※教育懇談会につきましては、別紙「教育懇談会および宿泊申込書」(次ページ)にてお申し込みください。

**申込書
送付・
送信先**

(財)日本私学教育研究所「第59回全国私学教育研究集会群馬大会事務局」宛 TEL03-3222-1621
FAX：03-3222-1683
郵 送：〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階

平成23年 ____ 月 ____ 日

都道府県名		学 校 名	
学校所在地	〒 _____ (郵便番号は必ずご記入ください)		
	TEL		FAX

日私研 記入欄	No.	ふりがな 氏 名	(役職名) 性 別	参加希望部会	
				第1希望	第2希望
例		ぐんま たかこ 群 馬 高 子 <small>(第1希望私学経営、第2希望教育課程部会参加の場合)</small>	(校 長) 男 ・ 女	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加
1			(_____) 男 ・ 女	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加

◆同一校より複数名の参加申し込みをいただく場合は、下記にご記入ください。なお、参加確認証および参加費の請求書・払込票については、上記「No.1」の欄に記載いただいた参加者宛に、すべての参加者の参加確認証および参加費の請求書・払込票をお送りいたします。(原則として、学校所在地欄に記載された住所にお送りいたします。)

	2		(_____) 男 ・ 女	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加
	3		(_____) 男 ・ 女	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加
	4		(_____) 男 ・ 女	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加
	5		(_____) 男 ・ 女	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加	1 私学経営 2 教育課程 3 法人管理事務運営 4 進路指導 5 国際理解教育 6 特色教育 7 全体集会のみ参加

※参加者が6名以上の場合は、恐れ入りますが本用紙をコピーしてご使用下さい。なお、その際、上欄の学校名を各々に記載し、2枚目以降のNo.を6、7、…、のように訂正してください。また、右欄 (No. _____) に1、2、…、のように番号を記入して下さい

No.

日私教研記入欄

平成23年度 第59回全国私学教育研究集会群馬大会教育懇談会および宿泊申込書

新規
 変更

申込み締切日：9月30日（金）

申込書送信先
JT B 法人東京 教育第一事業部営業第四課
FAX：03-5909-8040

*登録No. _____
*受付日 _____

※JTB記入欄

都道府県名	学校名	電話（ ）	—
学校所在地		FAX（ ）	—

教育懇談会 ※No. 1 欄に記載された方に、参加申込み者全員の教育懇談会に関する書類（参加確認証・参加費請求書等）をお送りいたします。
※申込み者数が9名以上の場合は、恐れ入りますが、本申込書をコピーしてご使用ください。（2枚目の申込書にも上欄に学校名を記載してください。）

No.	参加者氏名（ふりがな）	職名	No.	参加者氏名（ふりがな）	職名	No.	参加者氏名（ふりがな）	職名
例	吉澤 優（よしざわ まさる）	教諭	3	（ ）		6	（ ）	
1	（ ）		4	（ ）		7	（ ）	
2	（ ）		5	（ ）		8	（ ）	

宿泊 ※No. 1 欄に記載された方に、参加申込み者全員の宿泊に関する書類（予約確認証・参加費請求書等）をお送りいたします。
※申込み者数が6名以上の場合は、恐れ入りますが、本申込書をコピーしてご使用ください。（2枚目の申込書にも上欄に学校名を記載してください。）

	氏名（ふりがな）	性別	禁煙・喫煙	宿泊（各日、左側→第1希望・右側→第2希望）				同室希望者氏名			
				10/26（水）	10/27（木）	10/28（金）	※ツインルーム等1室2名以上の宿泊をご希望される方は同室の方の氏名をご記入ください。				
例	吉澤 優（よしざわ まさる）	男	喫煙	×	×	B-1	C-1	B-1	C-1	(氏名) なし	(備考)
1	（ ）										
2	（ ）										
3	（ ）										
4	（ ）										
5	（ ）										

宿泊予約の確認について お上記の予約を締切らせていただいた後に、宿泊箇所の確定をさせていただきます。従いまして、宿泊箇所の通知については、締切り後の宿泊予約確認書の発送をもってお知らせさせていただきます。

個人情報について お預かりしました個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」並びに「当社個人情報保護方針」に基づき、漏洩、不正利用、改ざんなどのないよう適正な管理に努めます。また、保有の必要がなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに消去します。



上 : 榛名富士と榛名湖

表紙 : (中央) 高崎白衣大観音 (たかさきびやくえだいかんのん)
(左) 群馬音楽センター (写真の左に写っているのは高崎市役所)
(右) 高崎の福だるま